

オープンラボシンポジウム2023開催結果

- 日時：2024年1月29日(月) 13:00～17:30
- 場所：ブリーゼプラザ・小ホール(大阪市北区)
- アーカイブ配信：あり(2月9日より配信、但し講演2を除く)
- 来場者数：78名(内、一般(非会員)39名)
- 主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
- 協賛：情報通信技術研究交流会(AC・Net)
- 後援：けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアム
- 概要：産学官の連携によりICT分野の研究開発に取り組む協議会活動の紹介や研究成果の報告、最新技術の紹介、会員間及び産学官連携関係者との交流や情報交換を行うことを目的として、毎年シンポジウムを開催している。今回は、会員へのニーズ調査で関心が高かった「XR」と「生成AI」を取り上げ、「XR」×「生成AI」が拓く、未来の「モノづくり」を展望する」をテーマとして、講演とパネルディスカッションを通して議論いただいた。一般から39名の来場があり、会員のみならず、一般の方の今回のテーマへの関心の高さが伺われる。モノづくりDXの観点を協議会活動に取り入れていくことで、本協議会を活性化させるとともに、2025大阪・関西万博に向けて連携の強化を図り、研究成果の社会実装に取り組んで参りたい。

●プログラム

「XR」×「生成AI」が拓く、未来の「モノづくり」を展望する

開会挨拶：小林 充佳(当協議会 理事長、西日本電信電話株式会社 相談役)

講演1：NECの考える デジタルトランスフォーメーションがもたらす「ものづくりの未来」

宮辻 博文氏(日本電気株式会社 エンタープライズコンサルティング統括部
ディレクター・FDXグループ長)

講演2：川崎重工業におけるXR技術によるものづくりの変革

志子田 繁一氏(川崎重工業株式会社 技術開発本部 システム技術開発センター
特別主席研究員)

講演3：XRが拓くRX(リサーチトランスフォーメーション)と、モノづくり革命への展望
井原 章之氏(国立研究開発法人情報通信研究機構 未来ICT研究所 主任研究員)

パネルディスカッション：XR技術と生成AI技術がもたらすモノづくり革命の克服すべき
課題、ビジネス戦略を展望する

モデレーター：小宮 昌人氏(JIC ベンチャー・グローース・インベストメンツ株式会社
イノベーションストラテジスト)

パネリスト：宮辻 博文氏、志子田 繁一氏、井原 章之氏、内元 清貴(当協議会 運営・研究部会
部会長、情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 研究所長)

閉会挨拶：菱沼 宏之(当協議会 理事、総務省 近畿総合通信局 局長)

**VR体験会
交流会**：志子田 繁一氏、井原 章之氏によるVR体験デモ



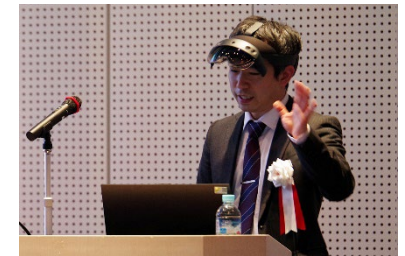
開会挨拶 小林 充佳
(当協議会 理事長)



講演1 宮辻 博文氏
(日本電気株式会社)



講演2 志子田 繁一氏
(川崎重工業株式会社)



講演3 井原 章之氏
(情報通信研究機構)



講演3 井原 章之氏による実演デモ



パネルディスカッション モデレーター：小宮 昌人氏 (JIC)、
パネリスト：宮辻 博文氏、志子田 繁一氏、井原 章之氏、内元 清貴



閉会挨拶 菱沼 宏之
(当協議会 理事)